

第 8 1 回水道事業審議会 質疑等

日 時 令和 7 年 1 0 月 2 1 日（火）

1 4 時～ 1 5 時 4 0 分

場 所 岡山市水道局 本局 3 階

災害対策室

■岡山市水道事業の概要と現状について

- ・ 工業用水道と上水道の施設を共用化すると配水量が増えるため、施設の老朽化が早まるということはないのか。また、共用化しなければ、1 つの施設が破損した場合、もう 1 つの施設をバイパス管として使えると思うがどうか。
⇒ 施設共用化は、上水道の供給能力の余剰部分を工業用水道に使用しているもので、老朽化が早まるということはない。また、共用化しなかった場合、更新にかなりの経費がかかるが、共用化により約 9 5 億円の経費削減と 4 年間の工期短縮を図ることができたため、効果が大きいと考えている。
- ・ 岡山市は他政令市と比較して、給水面積が一番広いが給水人口は少なく、人口 1 人当たりのコストが高い。今後の人口減少社会に向けた対策を何か考えているか。
⇒ 老朽化した水道施設の更新の際には、施設の統廃合やダウンサイジングを図っている。
- ・ 9 月から公式 SNS「X」を開始したとのことだが、より多くのお客さまに水道に関する情報をお届けするためには、フォロワーを増やすことが重要。何かその方策は考えているか。
⇒ 様々な情報をできるだけ多く投稿することによって、フォロワーを増やしていきたいと考えている。

■アクションプラン後期編令和 7 年度取組予定について

- ・ PFAS の検査は、年何回実施しているのか。
⇒ 年 4 回実施している。
- ・ 検査は、PFOS と PFOA の 2 種類だけか。
⇒ PFOS と PFOA に加えて、PFHxS（ペルフルオロヘキサンスルホン酸）についても測定している。

- ・ PFOSとPFOAの暫定目標値50ng/L以下には、PFHxSも含まれているのか。
⇒ PFHxSは含まれていないが、定量下限値未満で推移している。
- ・ 非常用飲料水袋は、災害時に市民全員に配るのか。
⇒ 災害時には各家庭にあるペットボトルなどの容器を応急給水場所に持参していただくよう広報しているが、容器がない方には水袋をお配りできるよう準備している。
- ・ 事業費の進捗状況で、進捗率が100%を超えているが、補正予算などの対応を取ったのか。
⇒ 水道記念館のリニューアルが年度内に執行できず、翌年度に繰り越して執行したため、進捗率が100%を超えている。

■岡山市水道に関する意識調査の結果報告について

- ・ 「意見・要望」に「スマートフォンやパソコンを使っていない高齢者にも配慮してペーパーからの情報、手続き等を一部残してほしい」という意見が出ている。そのあたりも考慮いただきたい。
⇒ 電子化することによって、お伝えできない方々が発生しないような手だては考えていきたい。
- ・ 令和6年4月から水道料金を値上げしたが、料金収入は改善したのか。
⇒ 令和6年度の決算見込みでは、ほぼ計画どおりの増収となっている。
- ・ 今回の意識調査の結果で、水道料金の値上げによる節水意識の高まりが見られたか。また、「災害への備えは必要だが、値上げがないよう工夫すべき」と回答された方が34.9%いるが、料金値上げ以外の方法で、災害対策を実施する方法はあるのか。
⇒ 料金改定により、約6割の方が「節水を意識するようになった」と回答している。一般世帯は、料金改定以前から有収水量が減少傾向であり、その傾向が続いているのか、節水意識の向上によるものかは、分からないが、今後も減少傾向が続くものと見込んでいる。また、災害対策にはどうしてもお金がかかるので、値上げをしなければ、災害対策が先送りになったり、耐震化率の向上が遅れたりする状況になる。
- ・ 料金改定の主な目的は「大規模災害に備えた水道施設の更新及び耐震化のため」とあるが、これまでの審議会では「水道施設の維持管理や材料費の高騰」が主な目的だったと認識している。どちらが主な目的だったのか。
⇒ 主な目的は「水道事業を持続的に運営するため」であり、そのための維持管理、材料費の高騰に対応することが必要である。また、大規模

災害時の備えは市民生活を支える水道事業を持続するうえで必須であり、どちらも料金改定の主な目的である。

- ・ 「どのようにして水を飲むことが多いですか」という問いに対して、「浄水器を通して飲んでいる」という回答も含めて、「主な飲料水が水道水 82.9%」としているが、これは正しいのか。
⇒ 日本水道協会が作成している「水道事業ガイドライン」の「直接飲用率」という指標の定義に基づいて算出している。
- ・ 水道事業に対する重要度と満足度の7つの項目は、すべて重要だと思っているので、重要度が平均以下の項目についても次期経営計画の策定の際には、施策に反映するよう検討してもらいたい。
⇒ ご意見を踏まえて、検討していきたい。